

## 東京大会報告

副会長 赤峰 準（釜利谷中学校）

平成27年度第55回大都市公立中学校英語教育研究会連絡協議会は、中野サンプラザで行われました。

「大都市公立中学校における英語指導の先進的な実践について相互に学び合い、グローバル人材の育成に向けた英語教育の改善方策を探る。」という大会趣旨のもと、全国から15都市の代表が集まりました。

今年度の研究主題は、「グローバル人材の育成に向けた英語教育の改善一指導法改善の実践を通して」と設定され、各都市からの活動報告があり、実りある協議が展開されました。

昨年度第54回協議会はさいたま市で開催され、協議の中で、小学校外国語活動および小学校との連携について、連絡協議会としての方針を定める必要がある、と名古屋市代表から動議がありました。さいたま市として検討したうえで、次年度の東京大会で提案させていただくと回答がありました。そして、今年度の協議会の中でさいたま市代表から次のように提案がありました。「国の動きの中にも小中一貫教育推進の方向が明確であり、本連絡協議会としても小中連携を深める必要はあると考えます。しかし、高等学校との連携はどうするのかという課題も出てきます。こうなると連絡協議会の規模が大きくなりすぎてしまい、運営自体に支障が出ることも考えられます。その意味では、大都市公立中学校…という協議会名は変更しないまま、来年度よりオブザーバー的存在として小学校の先生方にも参加をしていただく。そして、引き続き協議会の中で検討していくことを提案します。」こうして、平成28年度の横浜市大会から小学校の先生方にも参加していただくことになりました。

東京大会の午後には、品川区立荏原第六中学校主任教諭岡崎伸一先生からの実践報告と神奈川大学准教授である久保野雅史先生を講師に迎えてお話を伺いました。

岡崎先生からは少人数・習熟度別指導を通して、英語を用いて何ができるようになるかという視点で報告がありました。また、久保野先生のお話は英語の指導場面に応じた言葉の選び方や接し方など、とても示唆に富んでおり、参考になる内容でした。久保野先生は、皆さんもご存じのとおり神奈川県立外語短大付属高等学校および筑波大駒場中学校高等学校で教鞭をとられ、現在神奈川大学で准教授として活躍されています。

さて、来年度（平成28年度）の連絡協議会は本市で行われます。研究主題を「主体的・協働的な学習活動の充実」とし、課題解決型学習についての実践報告を行うこととなります。横浜の先生方のご協力をいただくこととなりますのでどうぞよろしく申し上げます。